

# ラオス・ベトナムに支部

## オフショア展開、技術者交流

### たちかわ IT交流会

【立川】たちかわIT交流会（東京都立川市、飯田哲郎会長）東洋システム社長、042・527・2700）は、システム開発の受注やオフショア（海外委託）開発を強化するためラオスとベトナムに支部を設置した。現地の有力ソフトウェア会社との間で、連絡窓口の役割を果たす支部開設の契約を締結。ラオスでは通信事業者からシステム提案の依頼を受けており、支部を活用して商談を進める。

たちかわIT交流会は10月に両国を訪問し、ラオスのピーラオ（ビエンチャン市）とベトナムのエーエヌラボ（ハノイ市）と支部契約を結んだ。両社のトップとも日本語が堪能で、ピーラオのトップは日本の大手IT会社での勤務経験を持つ。エーエヌラボは川崎市麻生区に日本法人を置き、ともに親日企業という。

訪問したラオスで、同国の大手通信事業者であるラオテレコム幹部が、たちかわIT交流会に各種システムの提案を要請。異なる言葉や商慣習に対応するため、支部契約を交わしたピーラオの協力を取り付け受注を目指す。

ラオテレコムに対する提案では、出勤管理システムなど投資規模が100万円程度で済む案件

を候補にする。さらに携帯電話のコンテンツ配信やインターネット通信販売など運用・保守サービスが伴うシステムについても可能性を検討。早ければ年内にも提案書を提出している。

両支部を足場にして、システム開発のオフショア展開やIT技術者の交流なども計画。また現地政府の社会資本整備計画やソフトウェアパーク構想などの情報をいち早く収集し商機をつかむ。

同交流会は立川市内のIT会社約30社が集まり、情報交換や大規模システム受注での協力、共同受注の体制づくりなど行っている。

出す。